

第52回  
地域医療講演会

## 今どき、これからのメンタル リハビリテーション～統合失調症に対する認知行動療法～

国立精神・神経センター 菊池安希子先生をお招きし、2008年6月21日(土)、高知市文化プラザかるぼーと において  
高知メンタルリハビリテーションセンター・デイケア看護師長 西岡 由江

▼当日は私たちが地域医療講演会を盛り上げました！



と大ホールは400人を超える聴講者で埋め尽くされました。

医療関係者はもちろん、新聞の広告欄を手に握りしめて来られたご家族の方、さらには病気と闘っている当事者の方など様々な関係者が訪

れ、関心の深さを改めて感じました。  
今回は、今後**統合失調症の治療の大きな柱となる【統合失調症に対する認知行動療法】**について国立精神神経セ

ンターの菊池安希子先生をお招きしてご講演いただきました。統合失調症の回復は、症状として起こってくる妄想や幻聴を他者のせいに行ったり超自然現象と受け止めるか、病気と受け止め認識するかによって経過が随分違ってきます。患者さんが症状を病気から来るものと受け止め、自分の中にある自動思考(思い込み)が影響していることを自覚し、さらに症状に向き合っていくためのスキルを習得していくための実践パッケージが認知行動療法と呼ばれる治療です。菊池先生は認知行動療法の本場であるイギリスで学ばれており、私達が明日からでも取り組める【認知行動療法】としてわかりやすく話していただきました。



さらに当院で統合失調症に対して取り組んでいる様々な支援の中から「デイケアにおける就労支援」(川添忠義)、「患者さんと家族を対象にした心理教育プログラム」(山中俊典)について発表する機会を戴きました。統合失調症という慢性疾患に対して家族のエンパワメントを引き出し、患者さんがデイケアという集団で自信を獲得し社会復帰していくプロセスを、家族の生のインタビューや活動場面の笑顔の写真を織り交ぜながら二人のスタッフが講演しました。病気になったことを否定的に捉えるのではなく、私たちリハビリテーションスタッフと出会うことで「生きることが楽しい」と感じられるようになり自分の人生の目標を見つけ、夢や希望に向かって共に歩んでいこうと、会場全体に働きかけることができました。

先号でも触れた稲盛和夫さんの著書『生き方』によれば、「考え方×熱意×能力」が人生とか仕事の結果を左右するといわれている。「熱意」と「能力」は0～100点までであり、「考え方」というのは心のあり方や生きる姿勢で、プラス100点からマイナス100点までであり、考え次第で人生の結果が決まってしまうほど、大事なことだという。

### 写真の向こう側

近森正幸



このプラスの「考え方」というのは常識的に判断される「良い心」のことで、前向きで感謝の心を持ち、協調性があり、善意に満ちていて思

いやりがあること。努力を惜しまず、足るを知り、強欲ではないというごく人間として普通のことをいう。  
なにかを一生かけて成し遂げた人は人生の真理をつかんでいるようである。私はそんなに人よりも優れた才能や情熱はなかったが、考え方がごく普通のまっとうな道を歩いていたんだと思う。医療をする人間として、病院の目的は「患者さんを早く治して住みなれた自宅に帰っていただくことだ」という簡潔な信念をもっていた。

今回近森会グループの第一回写真展を見たときに、写真の向こう側に、笑顔に包まれたスタッフやほのぼのとした風景がいっぱい写っていて、撮る人の心のあり方が感じられ、たいへん嬉しかった。プラスの考え方が具体化されている姿を見たように思える。これまでの私の努力は、よい心の光に包まれた病院にしたかったのだと思う。

理事長・ちかもり まさゆき

## 第21回 近森会グループ クリニカルパス大会

# 「ESWL-外来用- のパス」

2008年6月28日(土)、高新文化ホールにおいて  
泌尿器科 部長 谷村 正信



当日の大会では私たちが力を合わせました。写真左から、クリニカルパス委員会委員長 高橋潔、検査技師 長野裕美(SRL)、CCU看護師長 工藤淑恵、医事課外来主任 山本寿美子、呼吸器外科医師 山本彰部長(司会)、管理栄養士 田代千恵子、泌尿器科長 片岡真一、薬剤師 糸林由加里、泌尿器科医師 濱口卓也、放射線技師 入交玲名、泌尿器科部長 谷村正信(筆者)、泌尿器科外来看護師 吉田ひとみ、病棟看護師 山本暢明

あいにくの空模様、週末の早朝開始ながら院外10名、院内104名の参加者を数えました。

近森正幸理事長の挨拶の後、泌尿器科Drによる疾患の説明、山本看護師と吉田看護師によるパスの説明、患者インタビューの放映と続きました。

その後、スタッフの視点から田代管理栄養士、糸林薬剤師、長野検査技師、入交放射線技師による発表があり、質疑応答が行われました。

休憩後トピックスとして、工藤看護師長からエンジェルメイクについて発表があり、最後に山本医事課主任の発表、片岡Drによるベンチマーキングが行われました。

質疑応答の後、梶原看護部長の挨拶で無事にパス大会を終了しました。

半日という短い時間でしたが、参加者の方々はこのパス大会を通じ、尿路結石症についての知識を少しでも整理出来たのではと考えております。

尿路結石症は生活習慣病であり、今後ますます患者数の増加が予想されています。限りある医療資源を有効活用し、治療を行っていくためには、更なるスタッフの協力が必要であると実感した大会でした。

終わりにあたり、司会を務められた山本部長始め、ご協力いただきましたパス委員の皆様方に厚く御礼申し上げます。(たにむら まさのぶ)

## 聴診器と私

### 管理栄養士がなぜ聴診器？

臨床栄養部 部長 / 栄養サポートセンター長 宮澤 靖

▼近森会グループ総勢23名の管理栄養士



皆さんもお気づきのことと思いますが、近森会グループの管理栄養士は全員、聴診器を持って病棟に常駐しています。日本の慣例から見れば「管理栄養士が聴診器…?」と奇異に映るかも知れませんが、そこが近森会グループの認識の違いだと思っています。

私が米国で栄養士をしていた頃、私は当たり前のように患者さんを聴診し、病棟回診を行っていました。

帰国後、長野市内の公立病院に勤務し「聴診器を持った管理栄養士がいる」と、1997年11月24日付読売新聞で紹介された記事を、今回、11年ぶりに読み返してみました。

『「聴診器を忘れた。君のを貸してくれないか」。一緒に病棟を回診した指導教官にこう頼まれ、驚いて『自分は栄養士なので持っていない』と答えた。『臨床栄養士なのになんで聴診器を持たないのか』。今度は指導教官が驚いた…』。

と記事には書いてありました。以前の病院では「なんで栄養士が聴診器?」「聴診器が要るのか?」と厳しいご意見を戴くこともありました。

6年前に近森会グループに着任したとき。私は恐る恐る病棟で聴診をしていたら誰も何も質問しない!?



▲栄養指導中の宮澤靖部長

近森理事長は、「当院では管理栄養士が聴診器を持っている」と誇らしげに見学者に説明をし、川添管理部長からは「みごとに管理栄養士の概念を根底から覆してくれた」とむしろお褒めの言葉をいただいたのです。「これが病院力だ」とつくづく感じた瞬間でもありました。

私達、管理栄養士は腹部を聴診して腸管の動きを確認し栄養管理計画を立案し、頸部の聴診をして誤嚥してないか確認しています。臨床栄養士はそこまで責任をもって患者さんの命と栄養を守り抜く覚悟ができています。奇異な光景に映るかもしれませんが、特別なことではないし、スタッフもそう感じていると思っています。そこには近森会グループの「病院力の違い」と「臨床栄養士のプライド」が存在しているからです。



# 患者さんのため 院内図書コーナー “近森文庫” を開設

近森会グループ図書委員会 委員長 円山 英昭

7月1日に新館2階、“憩いの広場”の一角に“近森文庫”が開設され、ミニ・セレモニーの後に、実際に利用が始まりました。

本院では、患者さん達に本来の治療効果に加え、“なにかホッと”する、“気分が明るくなり、元気が出る”ような「心の奥底から湧き上がる健康感」を実感出来る時間や場所の提供にも努めており、近森文庫の構想はその線上にあります。

今回の開設は、ある強いきっかけに、数多くの院内スタッフの支援、さらに図



円山委員長と西川菜穂さん

書室の西川菜穂さんの大変な尽力と事務局の力強い協力が加わり実現出来ました。きっかけになったのは、元高知医科大学教授松田崇先生の奥様が文庫の

趣旨に賛同され、先生の御遺志を生かすためにも、ということで段ボール2箱いっぱいの書籍を文庫に寄贈されたことにあり、この故松田先生からのプレゼントと院内の多数のスタッフが文庫の目的に合うとして寄贈した図書などを中核とし、300冊で発足した近森文庫の蔵書数は現在、400冊を越えています。

患者の皆さんの他にも、付き添ってられる御家族の方達も本文庫は完全開架式ですので利用の手引を参照していただき、治療を受けておられる合間に、どうか自由に読書をお楽しみいただければと思います。なお、各書籍には抗菌作用のあるブックカバーを付けてはいますが、感染を予防するため読書の前後には、手洗いを励行しましょう。

今後、さらに書架を増設する一方で、定期的に文庫の運用実態の調査と評価を行い、文庫の目的、目標を完遂し、患者さんに喜んでいただけるように改善に努めます。

院内の職員の皆さん方には引き続き、この小さな文庫にご支援とご協力をお願いいたします。

開設24年

## 近森病院の 図書室の紹介

近森病院 図書室 西川 菜穂

▼ゆったりと落ち着ける閲覧スペース



当図書室は近森会グループ全体を対象とした職員用図書室で、今年で開設24年目を迎えます。

実はこの原稿を書いている私は担当8年目の2代目で、狭い部屋に本がいっぱいという空間から根気よく図書室を立ち上げ、文献検索用CD-ROMの導入や、他施設から文献を取り寄せられるよう文献相互貸借ネットワークに加盟する等、今の図書室のベースを創りあげたのは初代担当者の小川隆子さんでした。

開設当初は閲覧席も確保できないほどの小さな図書室でしたが、2004年の図書室リニューアルにより124.4平方メートルに拡張され、長年の夢であった明るくゆったりとした閲覧スペースが出

等々の文献検索データベースが利用可能となり、利用者や文献の取り寄せ依頼は年々増加しています。

長い年月を経て、現在では蔵書数が約17,000冊(単行本約7,000冊、雑誌製本約10,000冊)、定期購読雑誌が約200タイトルとなりましたが、それだけの蔵書を職員の皆様に有効に利用してもらえているかという、まだまだ課題は山積みです。2007年2月、そんな悩みを一緒に検討していただける心強き助け「図書委員会」が院内に発足しました。

今後とも初代の熱き志を引き継ぎ、多職種の意見を取り入れながら、『ちょっと頼りになる図書室』を目指して柔軟な図書室運営を心がけたいと思います。

来ました。

また、図書室内のオンライン環境も整備され、J-Dream2やメディカルオンライン、Up to Date



## スイカ彫刻のお迎え

調理師歴37年の寿司職人・合田末廣さんご寄贈のスイカ彫刻作品が、新館玄関前で7月下旬にお迎えしました。設置の日にはNHK取材もあり賑やかでした。



▲近森理事長からも御礼

ナースの卵たちには「かわいい〜♥」と大受け▶



シリーズ★趣味 英会話レッスン  
院内 Hello School in Chikamori Hospital

# 英会話を始めませんか？



本日の師匠は Kristen

2004年9月に入江博之先生のご尽力により近森英会話教室はスタートいたしました。当初は初級・中級合わせて50名ほども参加者がいましたが、なかなか継続は困難なようで現在は15名前後に減っています。かく言う私もなかなか皆勤とはいきませんが、なんとか細々と続けております。ただし語学の道は険しく一向に上達しませんが……。

初級クラスの講師は Aussie (オーストラリア人) の空手使い! Tracy と USA のお嬢 Kristen、中級は Aussie のサーファー Chris でみんな結構個性的で、また日本が大好きです。(因みに Kristen と Chris の結婚相手は日本人です)。だけど日本語は苦手です。内容は初級では教材を使っていますが、中級は free talking のみでやっています。

**日時は、初級が火(18:05-:55)・木(19:05-:55)、中級が水(19-19:50)と現在はなっていますが、参加者が増えれば増設可能です。**

社会はどんどん国際化しており田舎の代表高知県でも例外ではありません。興味はあるけどまだ未経験の皆さん、一度は挫折しちゃったあなた! 尻込みせずにチャレンジしましょう。

とくにレジデントの先生方、あなたたちは英語ができて当たり前医者世代です。時間は自分でつくるものです。ぜひ参加してください。私たちの年代になって後悔しないためにね! なお、お代は一月5,000円で6ヵ月前払いですが、ちゃんと続けると病院からなんと6,000円のご褒美が出ます。

(整形外科 衣笠清人)

*Would you like to join us?*

Let's talk together in English from now on!

Why don't you join us?

Let's enjoy speaking in English!

※始めたい人は ☎ 6613 柳井まで♥

管理部長の  
カンタンこだわり料理 27

居酒屋さんの「おつまみレシピ本」がベストセラーになっている。本シリーズの先を越されたようで何とも面映ゆいし、一方では本シリーズは某おつまみ本よりは品のいいシチュエーション(設定)になっているのでは、と秘かに自負したり…。今回も超簡単! 切って焼くだけ。



川添 昇



画 臨床栄養部科長 吉田 妃佐

## 栗かぼちゃの蒸し焼き



### 〈作り方〉

- ①かぼちゃ 1/4 割りにしたものを 1cm 位の厚さに切る。
- ②フライパンに①を並べて水 1/4~1/3 カップを入れ、蓋をして、水が残っている間は中火で、水が無くなりかけたら塩・コショウをし、弱火で焼き進み、金ぐしがすっと入るようになったら出来上がり。意外と早く火が通る。

塩は深層水か土佐佐賀あたりの天日塩、コショウは粒をミルで荒挽きにする——これぐらいはこだわっていたきたい。

### 〈食べ方〉

かぼちゃの皮のすぐ近くの緑色と本体の黄色と焦げ目のコントラストが美しい。それにたっぷりオリーブオイルを付けて食す。オイルは摘みたて(ヌーボー)が good である。ホクホクした食感に甘味が加わり、それにまだ青臭味の残ったオリーブオイルが濃厚な味を醸し出す。

酒は最近ハマっているスパークリングワイン・スペインの“カヴァ”あたりがぴったり。シャンパンは随分値段が高くなり、よっぽどのハレの日でなければ飲めない。その点、シャンパン以外のスパークリングは千円~2千円代が主流で、コストパフォーマンスにうるさい愛酒家には嬉しい限りだ。

それにしても若い頃はあれだけ嫌いだった芋、カボチャの類が好物になってきたのは歳のせいかなと少し淋しい気もする。



## スカッシュバレーの普及

臨床工学部 臨床工学技士 小椋 博明



自分はスカッシュバレーというスポーツをしています。バレーボールとの大きな違いは、人数は3人対3人で、コートは少し小さく、ネットの高さも2mと低く、ボールも柔らかいという点です。

なので、10代~60代の方がしており、バレー初心者でも気軽に出来るスポーツです。興味の湧いた方は、透析室・小椋までご連絡いただくか、ホームページもあるので見てみてください。また、している方がいましたら練習試合をしましょう。写真は自分が所属している岩村スカッシュバレーのメンバーです。

# 第二分院施設内 全面禁煙化へ

近森病院 第二分院 総看護師長 松永 智香

第二分院禁煙サポート委員会(通称 KIN サポ)は平成20年2月に立ち上げ、9月1日より実施の施設内全面禁煙化に



月に2回開かれている KIN サポのようす  
 ている患者さん、あるいは9月1日以降に入院される患者さんができるだけ気持ちよく生活できるようにという思いで、禁煙サポート委員会では話し合いを繰り返しています。

向けて活動中です。

これまでに、①職員の喫煙に対する意識調査を実施、② KIN サポ広報1号、2号の発行、③日本禁煙学会専門指導者である本院久保田聰美総看護師長による「禁煙支援の方法」と題した職員対象の研修、④現在喫煙をしている患者さんと職員対象の窪川渉一循環器部長による「禁煙のすすめ」研修などを行っております。

精神科領域の施設で、全面禁煙を実施している施設は全国でもまだ多くありません。9月1日以降にも入院され

昇格しました。  
 透析科科长就任。  
 乞熱烈応援  
 吉村 和修<sup>かずのぶ</sup>



この度、透析科科长に就任しました吉村です。透析室では腎不全に対してなるべく迅速に対応するよう心がけています。私もとにかくフットワークよく、これらの疾患に対応していきたいと思っています。

また透析療法および血液浄化療法は、腎臓疾患単独の病気よりもむしろその他の病気に合併して必要とされることが多い分野です。

また逆に、透析患者さんに代表される慢性腎不全の患者さんは多くの合併症をもちます。したがって他の科の先生方とのチームワークがいい医療を達成する上で不可欠です。そのなかであるときは**治療のキーマン**に、またあるときは**治療のキーマンの補佐役**としてチーム医療のなかでいい役割を果たしたいと思っています。

また**7月からは毎週木曜午後**に**専門外来**がはじまりました。この外来で慢性腎不全の治療やその他、慢性腎炎や電解質異常などについても気軽にご相談いただければと考えています。

## シリーズ★近森会交友録エッセイ

### 「先輩」

社団法人 日本看護協会

会長 久常 節子



昭和43年 高知女子大学家政学部衛生看護学科卒業。  
 昭和45年 大阪市立大学家政学部社会福祉修士課程修了。  
 昭和57年 日本医科大学医学博士取得(12月)。  
 平成3年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校  
 ポストドクトルコース修了(5月)。  
 平成3年 厚生省健康政策局計画課保健指導室長  
 平成5年 厚生省健康政策局看護課長  
 平成13年4月 慶應義塾大学看護医療学部教授  
 平成17年6月 社団法人日本看護協会会長(現在に至る)



「明日あると思う心のあだ桜 夜半に嵐の吹かぬものかわ」  
 学生のころ、予定を一日延ばしにしているといつも母に言われたのがこの和歌である。

自分が現職として働ける時間を意識し始めると、看護の基礎教育改革や看護職が働き続けることが出来る条件をちゃんとおかねば、日本の医療提供体制は看護から崩れると焦りにも似た気持ちになる。とくに日本看護協会という職能団体の責任あるポストに就かせていただいて、はや3年、何もしないで散ってしまっただけでは、60万の会員に申し訳が立たない。大きな仕事が一人で出来るわけではない、飛びっきりの人に助けてもらおう、支えてもらいたいと、失礼を省みず大先輩にお願いした。

先輩は私が学生のころは精神病院に勤めていて光っていた。近森病院の名前が広く世に知られるようになって意識したら、やはりそこに先輩がいた。

思い込んだらまっしぐら、先輩の現在の責任ある立場や事情など配慮するより先に、日本看護協会の重要な役割をお願いしていた。結果としては、振られてしまったが、目立った活動をしている先輩がいる、困ったときは相談すれば力になってくれる、それ以上、何を望むことがあろう、それで十分としなければならないと自分に言い聞かせている。

先輩、昔、夜眠れない母のことで相談に乗っていただいたことがありました。彼女は90歳を超え、まだ老人大学に通う、気持ちの若さを保っております。その節は、本当に有難うございました。

新シリーズ●近森会グループが日頃お世話になっている県内外の方々から、エッセイを寄せていただくコーナーです。どんな話題が展開されますやら。読者の皆さまもぜひお楽しみください！(ひろつば編集室)



薬用酒アラカルト<sup>28</sup>

## しょうが酒



料理をひきしめる脇役、食欲増進にひと役、漢方薬や民間療法など、何かと大活躍のしょうがをお酒にしました。今回は、なんと、近森理事長自ら漬けていただきました。

**<材料>** (密閉容器 1リットル分)  
しょうが ..... 200g、氷砂糖 ..... 80g、  
ホワイトリカー ..... 500ml

**<作り方>** ①しょうがはよく水洗いし、水気を十分に拭き取る。②皮付きのまま、2~3ミリの厚さの輪切りにする。③容器にしょうが、氷砂糖、ホワイトリカーを注ぎ、漬け込む。

しょうがの辛み成分には、食欲増進や殺菌作用があります。香り成分には食欲増進の他、健胃、発汗、去痰、消炎、保温作用などがあり、風邪の初期症状、リウマチ、神経痛、冷え性、美容などにも効果があるといわれています。

## シリーズハツスル研修医

## 第2回

## ♥ おもしろ研修医

初めまして。臨床おもしろ研修医、近澤悠志と申します。

最近医師免許皆伝しました。にんにん。

先日、夜間当直の救急で、僕が傷を縫うことになった患者さんにこういわれました。

『先生、若そうなけど大丈夫なが?』お目が高い。まだまだ未熟なおもしろ研修医の僕です。

はやく信用を勝ち取りたいです。『はい。きれいに縫いますからね』。無理に笑顔でそう答え、取り掛かった縫合処置は、人生初の大手術。はい、要努力。

こんな僕ですが、最近になり、先生方やスタッフの方々のご指導のお陰で自分の仕事にやりがいを感じる瞬間が少しずつ出来てきました。

必死に燃えている赤い命の火を

初期研修医 近澤 悠志



繋ぐ。そんな現場にもっともっと溶け込みたいです。やらずに怒られるくらいならやってやろうという精神で。

しばらくは、やらかし、いじられ、謝り倒す日々が続くことでしょう。でもいつかそれが還元できるよう、おもしろ研修医、今日も頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

漢方では、「しょうがは百邪を防御する」と古書にあるほどで、古くから生薬として利用されています。

漬けてから約一カ月後に行ったひろっぴ編集委員による試飲会では、大好評で、「しょうが湯のような懐かしい味」、「口の中に広がる香りがよい」、

「身体が温まって、優しい感じ」、「食欲がないときによさそう」、などの感想をいただきました。

ロックやストレートで少量ずつ味わうのもよし、サイダーなどの炭酸で割ってもよし。また紅茶に少し入れると、香り豊かなティータイムで身も心も温まりそうです。

夏バテ気味の方、また冷房で冷えるという方、夏こそジンジャー! なんだか懐かしい気分させてくれる香りとお味のしょうが酒を、ぜひお試しください。(文と画 嶋崎ヨリカ)

## 高知新聞期間広告賞受賞!

高知新聞社企画の「高知元気力検定」広告に参加した作品が入賞しました。

これは近森会グループのスタッフの顔写真を全5段全面に配置した迫力あるものです。人材を大切に近森会の姿勢が出ていると思えます。

いま広告は、広告主が伝えたいことを一方的に告白しても駄目な時代。まず消費者に楽しんでもらって、よい体験を共有しあうところから始めるのだそうです。今回の入賞作品

は、その要素を持っていた、との評をいただきました。

近森会グループは  
1,542人のスタッフで年間9,595人の  
入院患者さんに対応しています。

お告知	日時	講演名	演題	講師	会場
講演会	8月23日(土) 10時~	第56回 地域医療講演会	感染対策・医療安全セミナー 最近の 耐性菌の動向—とくに MRSA を中心に	大阪大学医学部附属病院感染制御部副部長 浅利誠志先生	コンフォート ホテル高知駅前
	9月27日(土) 14時~16時	第10回 公開県民講座	最近、オシッコ近くありませんか? 中高年から始まる頻尿、尿意切迫感	近森病院泌尿器科 谷村正信・片岡真一・濱口卓也	県民文化ホール グリーンホール



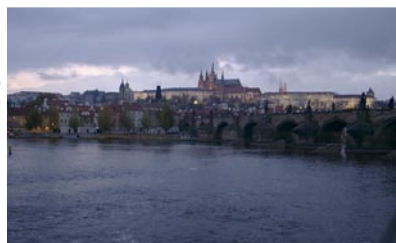
理事長賞(自然部門)「あつたか〜い」  
整形外科(道中泰典)



理事長賞(人間部門)「労(いたわり)」  
呼吸器外科(山本 彰)



審査員特別賞「旅の夜」CCU(森 奈々)



管理部長賞  
「暮色のプラハ城」  
総務課(田村裕彦)



管理部長賞  
「仲のいい医事課」  
医事課(竹崎智博)



看護部長賞  
「ネコ」臨床検査部  
(米澤眞理子)



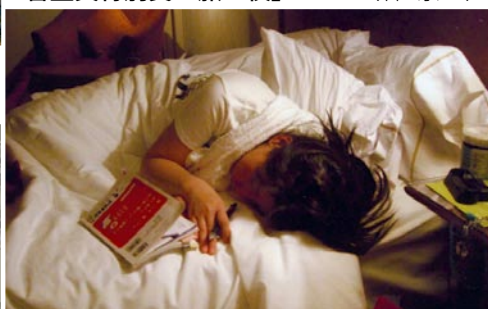
看護部長賞「控入室でくつろぎ中」  
HCU(蝦名玲子)

近森会グループの行事が  
テーマの写真展  
会期は 7/7 ~ 31

主催：近森会グループ  
コミュニケーション委員会  
協賛：近森写真倶楽部(CPA)「瞬」

近森会グループ第1回  
写真展

▼08年7月9日には新館2階ロビー  
の写真展会場で表彰式が行なわれた



奨励賞「修道院の影」  
総務課(田村裕彦)



奨励賞「太平洋」  
外来(西本清香)

奨励賞「竹」5西(田中理子)

●写真コンテストにより職員一同の親交を  
深めることができました。多数のご応募に  
感謝します。引き続き開催したいです。  
(コミュニケーション委員会委員長 片岡真)

### 看護部 キラリと光る看護 その39

## ギャップを埋める会話

看護部長  
梶原和歌



医療を提供する側と受ける側には予想以上に思いのギャップがあります。予約時間 15 分前に来院し、それから 1 時間 30 分待ってやっと診察の椅子に座ったとき、一言の「お待たせしましたね」が無い場合「この病院は予約を何と考えているか!」と怒りが込み上げてきます。

クリニカルパスも私たち医療者にとって「今月の使用状況 35%」と聞くと「よかった。患者さんへの説明が可視化されてうまく流れているのだとか、チーム医療がすすんでいることを

解ってもらえたらどう、とか業務改善にもつながり、医療の標準化や効率化の点から前進しているのだ」と自己満足に陥りやすい側面があります。

しかし実際「パス入院診療計画書」で説明をうけた患者さんに感想を伺ってみると「えっ、何? いや入院したときは字を見るのもうるそうで説明を聞いたろうけど覚えちよりません」とか「わたしは知らないが家族が聞いているでしょう…どの用紙でしょうか?」と種々のパンフレットや同意書が入ったファイルをまさぐられる方が多い。

急性期病院に入院された直後は疼痛や手術の不安、意識レベルの程度などで医療者側の説明が充分入らないこともあり、家族にしても目の前の病状に一喜一憂し、「全幅の信頼をもってお任せ」するしかないと思っているときに 1 年近いスパンの治療計画を提示されても消化しきれないことでしょう。

2006 年から大腿骨骨折の連携パスが、そして今年 7 月からは高知中央医療圏脳卒中の地域連携パスがスタートしました。**患者さん中心の医療が切れ目なく提供できるシステムが動き出したことは画期的なこと**です。そのメリットを生かすためにはギャップを埋める看護の働きが必要です。急性期・回復期・療養・どのステージでも折りにふれ、機会を見つけて**ギャップを埋める会話**を心こめておこないたいものです。

## 図書室便り

(2008年6月受入分)

- ・ AO SPINE MANUAL PRINCIPLES AND TECHNIQUES VOL.1 / Max Aebi(他著)
- ・ AO SPINE MANUAL CLINICAL APPLICATIONS VOL.2 / Max Aebi(他著)
- ・ 標準整形外科学 第10版 / 国分正一(他監修)
- ・ 最新整形外科学大系 4 リハビリテーション / 里宇明元(専門編集)
- ・ スポーツ膝の臨床 / 史野根生
- ・ DVDで動きがわかる モーション解剖アトラス 上肢・体幹 / 青木光広(他編著)
- ・ ハリソン内科学 第2版 VOL.1,2 / 黒川清(他日本語監修)
- ・ 上部尿路結石内視鏡治療マニュアル / 日本 Endourology・ESWL学会(他編集)
- ・ そこが知りたい!感染症一刀両断! / 古川恵一(監修)
- ・ 感染症入門レクチャーノーツ / 大野博司
- ・ 感染症レジデントマニュアル / 藤本卓司
- ・ レジデントのための感染症診療マニュアル 第2版 / 青木眞
- ・ 抗菌薬の考え方、使い方 ver.2 / 岩田健太郎(他著)
- ・ 感染症外来の事件簿 / 佐久間浩(他著)
- ・ 創傷治療プラクティス 皮膚潰瘍・褥瘡・小外傷 / 石川治(編著)
- ・ 創傷治療の常識非常識 [消毒とガーゼ] 撲滅宣言 / 夏井睦
- ・ 創傷治療の常識非常識 2 熱傷と創感染 / 夏井睦
- ・ 傷の正しい治し方 創傷から褥瘡のラップ療法 / 水原章弘
- ・ KIZWRAP ナースに贈る傷にやさしいラップ療法 / 水原章弘
- ・ カラー写真とイラストで見てわかる! 創傷管理 予防的スキンケア・褥瘡から創傷治療の実際 / 溝上祐子
- ・ 最新改訂版 やさしくわかる創傷・褥瘡ケアと栄養管理のポイント ~ 栄養士、コ・メディカルのための基礎から臨床の実際まで ~ / 塚田邦夫
- ・ エキスパートナース MOOK10 オールカラー改訂版 よくわかる術後処置マニュアル / 鶴田早苗(他編集)
- ・ すぐに活かせる! 最新創傷ケア用品の上手な選び方・使い方 薬剤・ドレッシング剤・スキンケア用品 / 田中秀子(監修)
- ・ 人工呼吸ケア「なぜ・何」大百科 / 道又元裕(編著)
- ・ チーム医療を担う医療人共通のテキスト 病気がみえる vol.1 消化器 第3版 / 福中陽平(他監修)
- ・ 同テキスト vol.2 循環器 第2版 / 倉田千弘(他監修)
- ・ 同テキスト vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第2版 / 弘世貴久(他監修)
- ・ 同テキスト vol.4 呼吸器 第1版 / 滝澤始(他監修)
- ・ 手術数でわかるいい病院 2008 全国 & 地方別ランキング / 朝日新聞社(編集) 《別冊・増刊号》
- ・ Journal of CLINICAL REHABILITATION 別冊 呼吸・循環障害のリハビリテーション / 江藤文夫(他編集)
- ・ 別冊 NHK きょうの健康 メタボリックシンドローム 減らそう内臓脂肪! もう“メタボ”なんて呼ばせない! / 山下静也(総監修)
- ・ 月刊 Medical Technology 別冊 超音波エキスパート 8 乳房疾患超音波画像集 / 佐久間浩(他著)



## ● 8月の歳時記 ●

## ハイビスカス



文 臨床検査部 弘松 慶子

8月の歳時記を書くにあたり、これまでの8月をどのように過ごしてきたかを考えてみました。私は

毎年8月に夏休みをとり沖縄を満喫!まず沖縄行きの機中で

客室乗務員さんのハイビスカス柄のカーユシウェアに目を奪われることから始まり、そして那覇市外の道端の至る所に咲いている赤や黄色のハイビスカスを髪飾りにしてみたり…と、ハイビスカスは私の沖縄気分をより一層盛り上げてくれる、大好きな花です



画 千光士 可苗

2008年 6月の診療数		企画情報室
<b>近森会グループ</b>		
外来患者数	17,369人	
新入院患者数	826人	
退院患者数	833人	
<b>近森病院</b>		
平均在院日数	13.85日	
地域医療支援病院紹介率	84.03%	
救急車搬入件数	412件	
うち入院件数	227件	
手術件数	372件	
うち手術室実施	236件	
うち全身麻酔件数	140件	

## 編集室通信

▼ 霧雨が雷雨へと変わり、雨が上がり、一気に日差しが強くなった。その頃から夕方の方の街では、ジャージ姿で自転車に乗る女の子を見かけるようになった。今年もこの季節がやってきた。どこからか音楽とともに鳴子の音が響いている。高知の街全体が祭りに向かって動いている。一カ月以上に及ぶハードな練習を乗り越え、本祭ではじける情熱と感動を体験すると、毎年踊らずにはいられない。今年も暑くて熱い夏になりそうだ(リンダ)。

▼ 第二分院屋上でひっそり花を付けるネジ花のことを前号で書き、写真は次号にでも…とも書きました。それがこれです(和)。▶ そのうちスイカの実もお見せできるかも知れません・笑

